

2025年2月28日

学校法人 熊本YMCA学園
理事長 光永 尚生 様

公益財団法人 地方経済総合研究所
代表理事 笠原 慶久

モニタリング報告書

1. 目的

本報告は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書（以下、評価書）に掲げる KPI を対象に、下記検証期間における進捗を確認することを目的としている。なお、評価書は国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り 2022 年 9 月 30 日に発行した。

【検証期間】

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

2. 検証の方法

評価書に掲げた KPI について、肥後銀行と連携し実施した担当者へのヒアリングを基に、検証を進めた。なお、進捗の妥当性は、適宜実施するヒアリング等で確認している。

3. 検証期間における特記事項

2023/7/11	香港学生ボランティア交流に専門学校生が参加
8/4-8/6	国際青少年平和セミナー（広島ピースセミナー）へ専門学校生参加
8/24-8/31	ワイズメンズクラブ国際協会アジア太平洋地域ユース・コンボケーション（ネパールで開催）へ専門学校生の参加
9/13	日本語学校でスピーチ大会を開催。
11/1	熊本にしワイズメンズクラブと専門学校生の交流会を開催。
11/5	専門学校でチャリティーを目的とした前進祭を開催し、専門学校生が参加した。益金はYMCA 年末募金を通して、災害復興等に用いられる。
11/15	熊本五福幼稚園の近隣である、慶徳校区にある慶徳コミュニティーセンターで継寿会の皆様と園児の交流の機会をもった。
12/3	熊本 YMCA が取り組む、YMCA 年末募金活動の一環である、街頭募金に専門学校生、留学生、幼稚園の園児が参加した。
12/5.7	花畑広場で開催される、クリスマスマーケット熊本の準備ボランティアとして、専門学校生が参加した。
12/9	出水・画図地区の地域活性化を目的としたレイクサイド繁栄会が例年行っていた謝恩会が 4 年ぶりに行われ、水前寺幼稚園も参加をした。
2024/1/8	1 月 1 日に発災した能登半島地震の支援活動として街頭募金を開催し、専門学校生、留学生、幼稚園の園児が参加した。
2/1-2/4	中国上海で開催された、日中韓 YMCA 平和フォーラムに専門学校生 1 名が参加した。日本・中国・韓国の 3 カ国のユースとシニアが集まり、歴史の振り返りとこれからの Y M C A の平和のとりくみについて学びと実行計画を協議した。
3/1	留学生の学びの成果として、学習成果発表会を開催した。グループ研究として日本と外国の違いなどについて調べて発表した。

4. 検証結果

ヒアリングを基に、検証結果を以下の評価基準を参考に、次の通りまとめた。

重要課題	取組事項	KPI	実績	評価
多様性の深化、発展	生徒数および国籍の把握	12 回/年	12 回/年	A
	就職内定率、進学率の適切な把握、検証	就職内定率、 および進学率 100%	100%	A
	生徒との生活相談件数	20 件/年	905 件/年	S
	他施設との交流件数、 交流授業の件数	10 件/年 10 件/年	304 件/年 52 件/年	S S
	教職員間の交流機会の件数	3 件/年	24 件/年	S
地域とのパートナーシップ の拡大	パートナー企業、学校数	20 先/年	274 先/年	S
	地域行事への参加件数、 延べ参加人数	5 件/年 100 人/年	11 件/年 125 人/年	S S
	ボランティア延べ参加人数	500 人/年	380 人/年	B
学習環境の変革と 質の向上	ICT 化の進捗状況	進捗状況の把握	就職情報等 の ICT 化	A
	新たな施策、行事の立案、 実施件数	5 件/年	2 件/年	B
	全学でのペーパーレス化の推進	紙の使用 5%削減	31%増	B
	教職員の総労働時間の削減 (一人当たり)	3%削減	1.7%減	B

【評価基準】

S：目標を大きく上回る A：当初の期待通り B：目標を下回る C：目標を大きく下回る

以上